

公益社団法人 宮城県生活環境事業協会



会報

No. 19

平成31年1月15日



写真:みやぎ蔵王の樹氷(提供:宮城県観光課)

発行 ◆ 公益社団法人 宮城県生活環境事業協会
〒983-0035 仙台市宮城野区日の出町2-5-15

[事務局（総務部・企画調整部）]
TEL (022) 783-8070 FAX (022) 231-2779
E-mail:soumubu@m-seikatsukankyo.or.jp

[検査センター（検査部・事業部）]
TEL (022) 231-2755 FAX (022) 236-2715
E-mail:kensabu@m-seikatsukankyo.or.jp

ホームページ <http://www.m-seikatsukankyo.or.jp>

Contents

-主な内容-

新年を迎えて	3
一人一人が輝く元気な宮城を目指して	4
地区連絡協議会会長ごあいさつ	5
協会の動き 7月から12月まで	9
[報告]	13
・第32回全国浄化槽大会	
・第32回全国浄化槽技術研究集会	
・平成30年度一般廃棄物適正処理推進大会in熊本	
受賞のおよろこび	14
被災地支援ボランティア活動を実施	15
災害義援金について	16
全浄連が自民党浄化槽推進議員連盟役員会に7項目を要望	17
平成30年度上半期の法定検査結果について	20
・法定検査の実施状況	
・判定結果	
・二次検査	
全国浄化槽技術研究集会発表報告	24
「BOD除去型浄化槽における有機物・窒素の高度処理化技術に関する研究」	
「小型浄化槽における塩素に依存しない消毒方法の開発に関する基礎的研究」	
会員情報	26
パンフレット「浄化槽ではじまる快適なくらし」を改訂しました	26
「平成31年一般廃棄物セミナー」開催のご案内	26
このあとの行事予定	26

品質・納期も安心な即戦力 ギガ、
いすゞオリジナル完成車「Gカーゴ」シリーズ

GIGA
G-CARGO
ISUZU
HULTE MERIT PACKAGE

いすゞ自動車東北株式会社
〒983-0013
仙台市宮城野区中野四丁目10番地の14
TEL: 022-786-6318
FAX: 022-786-8553



新年を迎えて

公益社団法人 宮城県生活環境事業協会
会長 鈴木文夫



明けましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員をはじめ関係者の皆さんには、平素より当協会の事業推進につきまして、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災以降、昨年も6月の大坂北部地震、7月の西日本豪雨や9月の北海道胆振東部地震など、大きな自然災害が発生しております。被災された皆様に心からお見舞い申し上げるとともに、一日も早く元の生活に戻れるよう速やかな復旧、復興を願っております。

当協会でも被災地の早期復旧に向けて会員各位から義援金を募集し、(一社)日本環境保全協会を通じて被災地への提供や、被災事業所への補助事業等に関する情報提供を行ったところです。また、東南海トラフ地震など今後発生が予想される自然災害に備えても、関係団体へ記録誌やCD-R等の提供、及び講演等により東日本大震災での経験・教訓を伝えて防災・減災への体制整備に協力しております。

さて、環境省では平成31年度予算概算要求で、合併処理浄化槽への転換に伴う宅内配管工事費や共同浄化槽設置および管渠への助成、浄化槽台帳の導入推進への助成を新規事業として、また省エネ型浄化槽システムの導入推進事業を継続して行うべく予算計上しております。当協会でも関係団体等と連携協力し、これらの事業実現へ向け努力するところです。

今年は、4月には新天皇即位とそれに伴う改元、10月には消費税率の引き上げなどが予定されており、また身近なところでは浄化槽法改正へ向けての動きや、当協会事務所の建替え計画も進んでおります。これらの事案に支障なく対応していくため関係機関等と密接に連携し、会員皆さんへの的確な情報を速やかに提供していく所存ですので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、皆さまの益々のご健勝とご発展を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

一人一人が輝く 元気な宮城を目指して

宮城県知事 村井嘉浩



明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、公益社団法人宮城県生活環境事業協会会員の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃より、浄化槽の普及や適正管理及び一般廃棄物の適正処理に資する事業に御尽力され、本県の生活環境の維持や公衆衛生の向上に大きく貢献いただいておりますことに対し、心から感謝申し上げます。

昨年は、本県出身の羽生結弦さんが平昌冬季オリンピックのフィギュアスケート男子シングルで6年ぶりにオリンピック2連覇の偉業を達成され、我が県のみならず、全国に大きな感動や勇気を与えてくれました。また、県政運営では、災害公営住宅の整備が完了間近まで進んだほか、三陸縦貫自動車道が気仙沼市内で開通するなど、震災からの復興が着実に進むとともに、次世代放射光施設の仙台市内への設置決定や仙台空港の就航路線拡大、新ブランド米「だて正夢」の本格デビューなど「創造的な復興」に向けたこれまでの取組が次々と実を結んだ1年でした。

今年は、「宮城県震災復興計画」の総仕上げとなる「発展期」の2年目になります。「発展期」は復興の進展に伴い生じる新たな課題にきめ細かく対応しながら、復興計画後の新しい宮城を形づくる極めて重要な3年間です。全ての被災者が復興を実感できるよう復旧・復興を一層加速させるとともに、「宮城の将来ビジョン」に掲げた将来像の実現に向け、戦略的に取組を推進していかなければなりません。そのため、「力強くきめ細かな震災復興」、「地域経済の更なる成長」、「安心していきいきと暮らせる宮城の実現」、「美しく安全なまちづくり」を政策推進の基本として、復興の総仕上げに向けた施策に最優先で取り組むとともに、未来を担う子どもたちへの支援や人口減少対策など地方創生の取組も加速してまいります。

震災から間もなく8年が経過します。震災前の状態に戻す「復旧」にとどまらない「創造的な復興」を更に進め、一人一人が輝く、元気な宮城を県民の皆様とともに築き上げてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力を願い申し上げます。

地区連絡協議会会長 新年のごあいさつ

仙台地区連絡協議会 会長 阿部 久義

新年あけましておめでとうございます。

昨年は大阪府北部地震、西日本豪雨、また北海道胆振東部地震等々、海外でも大地震や山火事の発生等により多くの犠牲者、たくさんの被害がでてしまいました。

亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて今年は10月に消費税率10%への変更が予定されておりますが、業界が一段と窮地に陥らないことを祈るばかりです。

また、当協会の一大事業であります事務所新築工事が完成する年でもあります。昨年、佐藤佑前会長を失ったことは我々業界にとって計り知れない損失ではあります、鈴木文夫会長と共に、当協会が益々発展するよう会員皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

会員皆様のご健康とご多幸、企業のさらなるご繁栄をご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。

県南地区連絡協議会 会長 佐久間 雅代

明けましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月には大型台風、北海道胆振東部地震等、多くの自然災害が発生しました。今後も自然災害の増加が予想される中、私たちが経験した東日本大震災をはじめとするさまざまな災害による多くの犠牲や苦しい経験を無駄にしないよう、教訓を引き継いで備えていかなければならぬと改めて感じさせられました。

年号が変わる本年はさらに気持ちも新たにし、当連絡協議会会員の連携をより一層深め、地域に必要不可欠な事業者として貢献して参りたいと存じます。

会員の皆様にはご健康とご多幸、そして社業繁栄を心よりお祈り申し上げご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

県北地区連絡協議会 会長 清野 一久

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては、お健やかに新年を迎えたこととお慶び申し上げます。

現在、県北地区では東北自動車道築館ICから三陸道登米ICまでの連絡道路の工事が着々と進められており、また宮城県長沼ボート場に新設したクラブハウス内に宿泊施設を併設し、2020年東京オリンピックの事前合宿候補地として誘致に向け動いております。

このような中で、当連絡協議会では会員の連携を深め官公庁のニーズに答えるべく各事業所職員の育成及び環境衛生の向上に取り組んで、「水の里」として住み良い地域に貢献できるよう努力していきたいと考えております。

今年も会員の皆様方のご健康とご多幸及びご活躍をご祈念申し上げ、本年度もよろしくお願ひ致します。

塩釜地区連絡協議会 会長 鈴木 文夫

新年明けましておめでとうございます。

平成31年の年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平成は4月で終了し、いよいよ5月から新たな年号のスタートとなります。新たな年号に慣れまるまでやや暫くかかり、多少の混乱も予想されますが、それよりもどんな年号になるのか楽しみでもあります。

昨年の世相を表す漢字一文字は「災」でした。豪雪、豪雨、そして大阪府北部や北海道胆振地方を中心とした地震と今までにない大変大きな自然災害に続けて見舞われ、多くの方が被災された大変な1年でした。

今年は穏やかな年であって欲しいと心より願うばかりです。

会員事業所のますますのご繁栄と皆様のご健康、そしてご多幸をご祈念申し上げます。

本年も昨年同様のご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願ひ致します。

石巻地区連絡協議会 会長 高橋 繁雄

明けましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は石巻地区連絡協議会佐藤佑前会長に多くのご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

東日本大震災から8年を迎える本年、石巻地区においては仮設住宅の撤去と復興公営住宅への完全な移行、橋の新設・復旧また防潮堤の急ピッチでの整備作業など復興事業を加速させ、新たな街づくりを進め人口減少対策を図り、労働力の確保、地域と産業間の連携による活性化や地域創生に向けて積極的に取り組もうとしています。

当石巻地区連絡協議会は「環境衛生」に携わる団体として、石巻地区の復興が加速化するよう建設や整備事業の下支えや、関連企業・官公庁の復興事業の支援ができるよう地域貢献や環境衛生の向上などの事業の強化を図っていきたいと考えております。

会員の皆様には本年度もご健康とご多幸、そしてご発展を心からお祈り申し上げます。

おかげさまで創業108年。
これまでも、これからも
まごころ込めて作ります。

(株)白謙かまぼこ店

〒986-0824 宮城県石巻市立町2-4-29 ☎ 0120-20-1842 <http://www.shiraken.co.jp> 検索



大崎地区連絡協議会 会長 佐藤 政志

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様には、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は記録的な猛暑や集中豪雨、また従来の進路とは異なる強烈な台風に見舞われ地球温暖化の影響と思われる異常気象を実感いたしました。8月に加美町総合防災訓練に参加する機会があり、被害状況の情報伝達や給水活動訓練などを行い、過去の教訓を生かした備えと日々の防災意識を持つことの重要性を感じました。

本年は、10月より消費税率が10%に引き上げられ対応に大変苦慮されると思われます。駆け込み需要の反動で10月以降消費が低迷し厳しい経営環境が予想されますが、生活に密着した事業者としての使命感を更に強め、安全で快適な環境を提供する事を目標に情報交換をしながら皆様と力を合わせて邁進していきたいと思います。

最後に皆様のご健勝と益々ご発展を心よりお祈り申し上げて、新年のご挨拶といたします。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます

気仙沼・南三陸地区連絡協議会 会長 佐々木 安人

新年あけましておめでとうございます。

平成31年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年の4月には平成も終わり5月からは新元号でのスタートとなります。どのような元号になるか今から楽しみです。

東日本大震災から早や8年を迎えようとしていますが、県内の復興は確実に進んでいること思います。

当気仙沼地区では4月に大島への「気仙沼大島大橋」が開通する予定です。これからは離島ではなく本土となり、私たちもフェリーを使わずに行き来ができるようになるため、時間を気にしないで仕事ができるようになります。

さらに三陸道も大部分が開通する予定ですので仙台方面に向かう時間が大幅に短縮されることになり、反対に仙台方面から来られる方にもより近く感じていただくことができるのではないかと思います。

今年も会員各社におかれましては、無事故、無災害で一年を過ごして頂きたいと祈願しております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1台の社用車をビジネスでもプライベートでも利用できる
カーシェアサービス Scash

■お問い合わせ先：住友三井オートサービス株式会社
〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1
TEL (022) 266-8251

社用車の有効活用 | 従業員の利便性向上 | 福利厚生の充実

企業・従業員間カーシェアサービス「Scash（スカッシュ）」は、社用車に搭載した車載器の稼働データと、スマートフォンアプリの「利用データ」を活用し、公私との利用区分を明確にすることで、企業・従業員間の車両コストの算分と、事故時の責任区分の可視化を実現。公私別の保険対応も可能です（一部保険会社のみ）。

一台の社用車のシェアにより、双方の金銭的な負担削減に加え、社用車とマイカーの乗り換えをなくし、従業員の余裕時間を作出。働き方改革にも貢献します。また、本サービスを導入することで福利厚生制度の充実も図れ、人材確保や団結力も期待できます。借上車両制度をとっている企業の車両管理リスクの低減にもつながります。

まずは、住友三井オートサービスにご相談ください。

ヒトカラマを実現でつなぐ
住友三井オートサービス

役員一同、新年のご挨拶を申し上げます

会長 鈴木 文夫 協業組合塩釜清掃センター
副会長 阿部 久義 インテック株式会社
副会長 清野 一久 有限会社きよの清掃センター
副会長 若生 武志 株式会社泉
専務理事 赤尾 牧夫 公益社団法人宮城県生活環境事業協会



理事
長谷川信夫 東北学院大学名誉教授 永井 秀昭 三益工業株式会社
渡辺 光造 株式会社渡辺店 鈴木 伸彌 鈴木工業株式会社
佐久間雅代 株式会社エイスイ工業 布田 和葉 協業組合共和衛生グループ
伊藤 直子 黒川衛生協業組合 前田 長信 有限会社前田衛生興業
千葉 善弥 有限会社河南衛生社 色川 雅夫 協業組合石巻浄化槽管理センター
菅井志津恵 有限会社東北衛生社 佐藤 政志 協業組合アクアネット
千田 信良 有限会社千田清掃 嶋田 穎夫 協業組合大崎東部浄化槽管理センター
佐々木安人 有限会社佐々木設備工業 小野寺 優 気仙沼清掃事業協業組合
監事
渡邊 浩一 協業組合仙台清掃公社 大山 良彦 有限会社七五六衛生興業
佐藤 和弘 佐藤和弘公認会計士事務所

走るほどに、使うほどに、三菱ふそうの真価。

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

三菱ふそうトラック・バス株式会社 東北ふそう 宮城県仙台市宮城野区日の出町3-7-45 TEL:022-284-8811

www.mitsubishi-fuso.com

協会の動き（7月から12月まで①）

7月

2日 第14回浄化槽水質検討委員会 当所会議室 審議事項 ①浄化槽水質検討委員会委員長及び副委員長の選任について ②平成28年度浄化槽法定検査における二次検査結果について ③水質改善が困難な施設(コンビニエンスストア)に設置された浄化槽の実態調査結果について 報告事項 ①浄化槽放流水の経年変化について ②浄化槽処理方式別の放流水質について



3日 浄化槽を活用した防災拠点トレスシステム検討委員会キックオフミーティング 東京都：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

5日 全国公益法人協会：ガバナンスを強化するための法人運営実務[基礎編] 仙台市：ハーブ仙台

8日 浄化槽設備士試験 仙台市：ショーケー本館ビル

10日 第3回事務所建替え小委員会 当所役員室

11日 仙台市：2018仙台市下水道フェア打合せ 仙台市：仙台市役所

12日 気仙沼・南三陸地区連絡協議会：合同勉強会 気仙沼市：ゲストハウスアーバン



14日 NPO法人環境生態工学研究所：運営幹事会 仙台市：E-TEC事務所

18日 平成30年度第1回浄化槽部会 当所会議室 議題 ①部会長・副部会長の選任について ②浄化槽部会管理士研修会について ③11条検査における二次検査の概要について ④パンフレット「浄化槽ではじまる快適なくらし」(改訂版)について ⑤今後の部会活動について ⑥その他



19日 大崎地区連絡協議会：研修会 大崎市：大崎生涯学習センター



26日～27日 (一社)日本環境保全協会北海道・東北ブロック協議会：第24回総会、懇親会、施設見学 石巻市：石巻グランドホテル他



27日 釜房ダム貯水池湖沼水質保全対策推進協議会：平成30年度総会 川崎町：川崎町公民館

27日 東北工業大学：市民公開講座「汚水処理汎用としての人工湿地について」仙台市：東北工業大学一番町ビル

28日 NPO法人環境生態工学研究所：汚水処理生物研究会施設見学会・生物観察会 仙台市：南蒲生浄化センター

8月

6日 平成30年度第1回浄化槽法定検査委員会 当所会議室 審議事項 ①浄化槽法定検査委員会委員長及び副委員長の選任について ②浄化槽法定検査実施要領の様式の一部変更について 報告事項 ①平成29年度浄化槽法定検査結果について ②第14回浄化槽水質検討委員会について ③調査研究年次報告



6日 第4回事務所建替え小委員会 当所役員室

8日 第1回浄化槽を活用した防災拠点トレスシステム検討委員会 東京都：東京洋服会館

11日 NPO法人環境生態工学研究所：運営幹事会・定例セミナー 仙台市：戦災復興記念館

21日 第5回事務所建替え小委員会 当所会議室

21日 全国公益法人協会：ガバナンスを強化するための法人運営実務[実績編]仙台市：ハーブ仙台

協会の動き（7月から12月②）

23日～24日 日本水処理生物学会：第35回水処理生物基礎講座 滋賀県：滋賀県立琵琶湖博物館

27日（一社）日本環境保全協会：第6回委託許可問題対策委員会・第3回ごみ処理事業委員会合同会議 東京都：日新ビル

31日 平成30年度第1回青年部会 石巻市：割烹小松 議題 ①部会長及び副部会長の選任について ②今後の活動方針等について ③その他



31日（公社）山形県水質保全協会青年部との情報交換会 石巒市：割烹小松

9月

1日（公社）山形県水質保全協会・当協会青年部及び職員による被災地支援ボランティア活動 石巒市：石巒市立大原小学校他（P15参照）

4日～5日（公社）日本水環境学会：第21回シンポジウム「生物膜研究会」島根県：島根大学

5日 平成30年度第2回三役会 当所会議室 ①事務所の建替えについて ②副会長の順序及び上部団体への役員等推薦について ③今後の協会運営について ④その他

6日 北海道・東北地区浄化槽指定検査機関連絡協議会：第30回理事会、第1回総務部会及び検査部会合同会議 山形県：ホルム樹林



8日 NPO法人環境生態工学研究所：運営幹事会 仙台市：E-TEC事務所

10日～11日（公社）日本水環境学会東北支部：第13回人工湿地ワーキング2018in郡山 福島県：日本大学工学部

11日 平成30年度第1回浄化槽部会管理士研修会 当所会議室 ①法定検査における維持管理に関する不適正事例とその改善方法について ②透視度の測定とクロスチェック（実習）③浄化槽における透視度とBODの関係 ④その他



12日 平成30年度第2回浄化槽部会管理士研修会 気仙沼市：ゲストハウスアーバン



13日～14日 浄化槽法指定検査機関四国地区協議会：平成30年度検査員研修会 愛媛県：国際ホルム松山

21日（一社）日本環境保全協会：第5回浄化槽事業委員会 山形市：ホルムキャップ山形

21日（公財）廃棄物・3R研究財団：平成30年度低炭素型廃棄物処理支援事業公募説明会 仙台市：TKP仙台西口ビジネスセンター

21日 全国公益法人協会：実践簿記講座[基礎編] 仙台市：仙都会館

22日（公社）山形県水質保全協会：片桐光氏旭日単光章受章を祝う会 山形県：天童ホルム

26日 平成30年度第1回一般廃棄物部会 当所会議室 講演「省エネキ-相談プラットフォーム事業」について NPO法人環境会議所東北 専務理事 山岡 講子 氏 議題 ①部会長・副部会長の選任について ②今後の部会活動について ③し尿くみ取り料金の改正状況について ④その他



27日（一社）全国浄化槽団体連合会東北地区協議会、北海道・東北地区浄化槽指定検査機関連絡協議会：事務引継ぎ 青森県：（一社）青森県浄化槽検査センター

27日 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部：地方創生インターナショナル推進シンポジウム 仙台市：ホルムロード仙台

29日 NPO法人環境生態工学研究所：北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動 岩手県：八幡平松尾鉱山跡地

協会の動き（7月から12月③）

10月

- 1日 浄化槽の日実行委員会：第32回全国浄化槽大会 東京都：ホーリーランドパレス（P13参照）
2日 浄化槽推進議員連盟：役員会 東京都：ザ・キャピトルホル東急
4日（一社）日本環境保全協会北海道・東北ブロック協議会：事務引継ぎ 山形県：（公社）山形県水質保全協会
4日 住友三井オートサービス（株）：お客様セミナー 仙台市：ウェスティンホテル仙台
9日 平成30年第32回全国浄化槽技術研究集会、懇親会 愛知県：名古屋国際会議場（P13参照）
13日 NPO法人環境生態工学研究所：運営幹事会、第14期定期総会、基調講演会 仙台市：戦災復興記念館
16日 平成30年度第1回浄化槽維持管理技術研修会 気仙沼市：ゲストハウスアーバン クボタ浄化槽KZ型・KJ型のトラブルシューティング及び維持管理方法等について 講師：クボタ浄化槽システム（株）東京支店CSサービス部グループ長 渡部 元之 氏



17日 平成30年度第2回浄化槽維持管理技術研修会 当所会議室



17日 全国公益法人協会：東北地区定例講座 仙台市：仙台商工会議所

18日 第2回浄化槽を活用した防災拠点トイレシステム検討委員会 東京都：東京洋服会館

18日（一財）日本環境衛生センター：第62回生活と環境全国大会、レセプション 福島県：コラッセ福島、ザ・セレクト福島

19日 宮城県合併処理浄化槽普及促進協議会：平成30年度職員研修会 仙台市：八木山動物公園

19日（公財）日本環境整備教育センター：第122回実務セミナー 東京都：（公財）日本環境整備教育センター

25日 富山県環境保全協同組合：青年部設立35周年記念講演会、祝賀会 富山県：ANAクラウンズザ・ホル富山

- 28日 第30回記念宮城地区まつり(2018仙台市下水道フェア) 仙台市：宮城総合センター他



28日 浄化槽管理士試験 仙台市：ショーケー本館ビル

11月

- 2日 日本水処理生物学会：第55回大会 福島県：日本大学工学部
6日 中間監査 当所事務室
7日 平成30年度浄化槽清掃技術研修会 東松島市：高橋邸 研修「小型浄化槽の清掃実務について」 講師：（有）日本清掃総業 代表取締役 佐藤 清和 氏



7日 宮城県公安委員会：安全運転管理者講習 仙台市：宮城県運転免許センター

8日（一社）日本環境保全協会：第16回理事会、平成30年度一般廃棄物適正処理推進大会 熊本県：熊本ホリキャッスル（P13参照）

10日 NPO法人環境生態工学研究所：運営幹事会 仙台市：E-TEC事務所

12日～13日 平成30年度第5回岩手・宮城合同検査及び情報交換会 大崎市：幸雲閣他

14日 平成30年度第3回三役会 当所会議室 ①平成30年度中間監査の結果について ②平成30年度第3回定期理事会に付議すべき議案について ③今後の協会運営について ④その他



16日 平成30年度浄化槽の施工技術・適正管理に関する研修会 仙台市：仙台商工会議所

①「浄化槽行政の現状について」 講師：宮城県環境生活部循環型社会推進課施設班 技術主査 阿部 洋平 氏 ②「ポンプ、レベルスイッチ、スクリーンの構造について」 講師：エレポン（株）代表取締役 社長 村田 雅男 氏

協会の動き（7月から12月④）

③「浄化槽の構造・機能と施工・維持管理(5～10人槽)について」講師：(一社)浄化槽システム
協会 技術委員長 古市 昌浩 氏



- 16日 (公財)宮城県公害衛生検査センター 平成30年度
公衛検セミナー 仙台市：ホル白萩
- 17日 (一社)青森県浄化槽検査センターとの法定検査受検率向上に関する会議 青森県：(一社)
青森県浄化槽検査センター
- 22日 日本年金機構仙台東年金事務所：平成30
年度年金委員・健康保険委員研修会,表彰式
仙台市：ホルムハルク仙台
- 22日 (公社)山形県水質保全協会：平成30年
度浄化槽・水処理技術管理研修会 山形県：
鮎葉アリバ
- 27日 全国公益法人協会：第48回公益法人会
計検定試験 仙台市：JC-21教育センター
- 28日 平成30年度第3回定期理事会 当所会議
室 審議事項 ①平成30年度中間事業報告
及び中間取支決算について ②平成30年度
第一次補正予算(案)について

③副会長の順序について ④事務所建替え(案)
について ⑤部会員の変更及び追加(案)につい
て ⑥理事の地区割当数について 報告事項 ①
代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に
ついて ②各部会の報告について ③平成30年
度(一社)日本環境保全協会会长表彰受賞者に
ついて ④平成30年9月北海道胆振東部地震への
対応について ⑤平成31年新春セミナー・賀詞交
歓会について ⑥今後の行事予定等について



- 30日 高知県：平成30年度災害時における生活
環境保全事業研修会 高知県：高知城ホル
30日 (公財)宮城県環境事業公社：平成30年度環
境セミナー 仙台市：ハイテク21
- 30日 仙台市：仙台市下水道ワーカー第2回実行委員
会 仙台市：仙台市役所

12月

- 5日～7日 浄化槽技術管理者講習会(第26回宮
城会場) 仙台市：ホルムセント
- 8日 NPO法人環境生態工学研究所:運営幹事会
定例セミナー 仙台市：宮城野区市民センター

環境機器 & 環境車輌



湯浅建機株式会社

〒985-0842 宮城県多賀城市桜木二丁目2-6

TEL (022) 362-3830

FAX (022) 362-8182

報 告

第32回全国浄化槽大会

浄化槽関係16団体で構成される「浄化槽の日」実行委員会は、平成29年10月1日(月)に東京都千代田区のホテルグランドパレスにおいて、第32回全国浄化槽大会を開催しました。

はじめに、実行委員会を代表して一般社団法人全国浄化槽団体連合会の上田 勝朗 会長が挨拶。環境大臣、国土交通大臣の祝辞に続いて、一般社団法人浄化槽システム協会の福原真一 会長が『浄化槽適正整備推進決議』を読み上げ、満場の拍手で採択されました。続いて行われた浄化槽功労者表彰では、当協会の佐々木 安人 理事((有)佐々木設備工業 代表取締役)が環境省環境再生・資源循環局長表彰を受賞しました。

その後、浄化槽標語募集結果発表に続き、一般社団法人Water-n 代表理事の奥田 早希子 氏が「生活者目線で考える水インフラ」と題し、記念講演を行いました。



第32回全国浄化槽技術研究集会

公益財団法人日本環境整備教育センター(廣瀬 省 理事長)は、平成30年10月9日・10日に愛知県名古屋市の名古屋国際会議場で「第32回全国浄化槽技術研究集会」を開催しました。

式典では、廣瀬理事長、来賓挨拶に続き浄化槽功労者の表彰や浄化槽研究奨励・楠本賞贈呈式が行われ、続いて東京福祉大学大学院 副学長の喜多村 悅史 氏が「生活排水処理改革」と題し特別講演を行いました。

また、研究発表会では当協会から、検査部検査第二課 佐々木 敦主幹が『BOD除去型浄化槽における有機物・窒素の高度処理化技術に関する研究』について、同じく高橋 直樹 主任主査が『小型浄化槽における塩素に依存しない消毒方法の開発に関する基礎的研究』について、それぞれ成果を発表しました。(⇒P24,25参照) なお、来年度の全国浄化槽技術研究集会は秋田市で開催される予定です。



平成30年度一般廃棄物適正処理推進大会in熊本

一般社団法人日本環境保全協会(山条 忠文 会長)は、平成30年11月8日に熊本県熊本市の熊本ホテルキャッスルで平成30年度一般廃棄物適正処理推進大会を開催しました。

山条会長の開会挨拶、開催地団体である熊本県環境保全協会の岡村 謙一 会長の挨拶に続き、会長表彰の表彰式が行なわれ、当協会関係では会員の(有)宮広清掃社 代表取締役 吉見 宏 氏が功労会員表彰を、各地区的連絡協議会から推薦のあった会員事業所の方々 5名が優良事業従事者表彰を受賞されました。(次ページに掲載)

その後、一般廃棄物処理業に係る動向と対策について事業報告が行なわれ、続いて大会決議が満場一致で採択されました。特別講演では「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向について」と題し環境省環境再生・資源循環局廃棄物適正処理推進課長 名倉 良雄 氏が、「熊本地震における災害廃棄物処理」について熊本県環境生活部環境局循環社会推進課長 城内 智昭 氏がそれぞれ講演を行いました。なお、来年度は徳島市で開催される予定です。



受賞のおよろこび

次の皆さまが、浄化槽関係事業や廃棄物処理事業等に貢献された功績により、受賞の栄に浴されました。ここからお慶びを申し上げますとともに、今後ますますのご活躍、ご発展をお祈り申し上げます。

◇環境省環境再生・資源循環局長表彰

佐々木 安人 様 ((有)佐々木設備工業 代表取締役)

◇(一社)日本環境保全協会 会長表彰

○功労会員表彰

吉見 宏 様 ((有)宮広清掃社 代表取締役)

○優良事業従事者表彰(特A)

浅野 とし江 様 ((株)清建)

○優良事業従事者表彰(A)

伊藤 達也 様 ((協業)石巻廃棄物処理センター)

新田 良彦 様 (")

早坂 洋美 様 ((協業)県北清掃公社)

渡辺 正宏 様 (")

～ 皆さまおめでとうございます～

2トン 強力吸引作業車 MP-02BVP



都市部などの狭い場所での作業に活躍できる、準中型免許対応の小型強力吸引作業車です。
全高を低く抑えているため、地下駐車場等での吸引作業に対応できます。
今回の車両は、上記特長を活かしたビルメンテナンスの他、貯水池の清掃等にもご使用いただけます。

■主要諸元表

型 式	MP-02BVP	圧 送 壓 力	0.07MPa (0.7kgf/cm ²)
シ ャ ー シ	ISUZU:TPG-NKR85N-EE5APY-M (WB:2,490mm)	タンク 容 量	1.8m ³
P T O	392N·m (40kgf·m)	最 大 積 載 量	1,800kg
吸引量 ^{注1)}	20m ³ /min	全長×全幅×全高	約5,300mm×約1,700mm×約2,100mm
吸引静圧 ^{注2)}	-96kPa (-720mmHg)	定 員	3名
吸 口 径	ø75		

注1) -13kPa (-100mmHg時) 注2) 封入水温15℃の最高到達圧力

東北・北海道支店

〒982-0012 仙台市太白区長町南4-12-27 NS泉崎2階
TEL (022) 248-2991 FAX (022) 248-2995
ホームページアドレス <http://www.kanematsu-eng.jp/>

ソロ
一
斎

ソーシャー
Soshō

企画
制作

tel 022-743-7365 fax 022-743-7366

Hanminishi Kazutoshi

看板広告

すらし

D タイレクトメール

カタログ

パンフ

内装・ウインドウ

イベント設営

展示装飾

新聞広告

カレンダー

ノベルティ

被災地支援ボランティア活動を実施

平成30年9月1日（土）に、当協会青年部・職員22名、（公社）山形県水質保全協会青年部・職員10名、合わせて32名が参加して被災地支援ボランティア活動を行いました。

東日本大震災以降、毎年継続して行っているこの活動ですが、今回も大原小学校及び大原浜生活センターの草刈や庭木の剪定、側溝の泥上げ作業等を行いました。



平成30年9月吉日

公益社団法人宮城県生活環境事業協会
会長 鈴木文夫 殿

石巻市立大原小学校
校長 横江良伸
PTA会長 杉山さゆり

石巻市立大原小学校への御支援について（御礼）

初秋の候、貴殿におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
先日は、御多忙の中、ましてや雨天の中、校庭や校舎周辺の草刈、植木の剪定、側溝の泥上げ等、子供たちのために校舎内外の環境美化に御支援いただきましたことに心より深く御礼申し上げます。また、県内はもとより遠く山形県からもたくさんの方々に御支援いただきましたことに深く感謝申し上げます。

月曜日に登校してきた子供たちが校庭や校庭周辺がとてもきれいになっていることに大変、驚いていました。また、整備された校庭で地域の皆様が早速、運動会を開催しました。参加した皆様は、きれいになった校庭でリレーをしたり、玉入れをしたりして有意義な一日を過ごしていました。

さて、平成30年度の大原小学校は、1年生4名、2年生4名、3年生4名、4年生3名、5年生1名、6年生3名の全校児童19名です。子供たちは、いつも『勉強いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい』を合言葉に頑張っています。これからも、皆様とのつながりを大切にさせていただき、未来に向かい活躍できる大原っ子を育成していきたいと思います。

結びになりますが、貴殿の御健康をお祈り申し上げて、御礼の挨拶といたします。



『平成30年7月豪雨』『北海道胆振東部地震』

災害義援金について

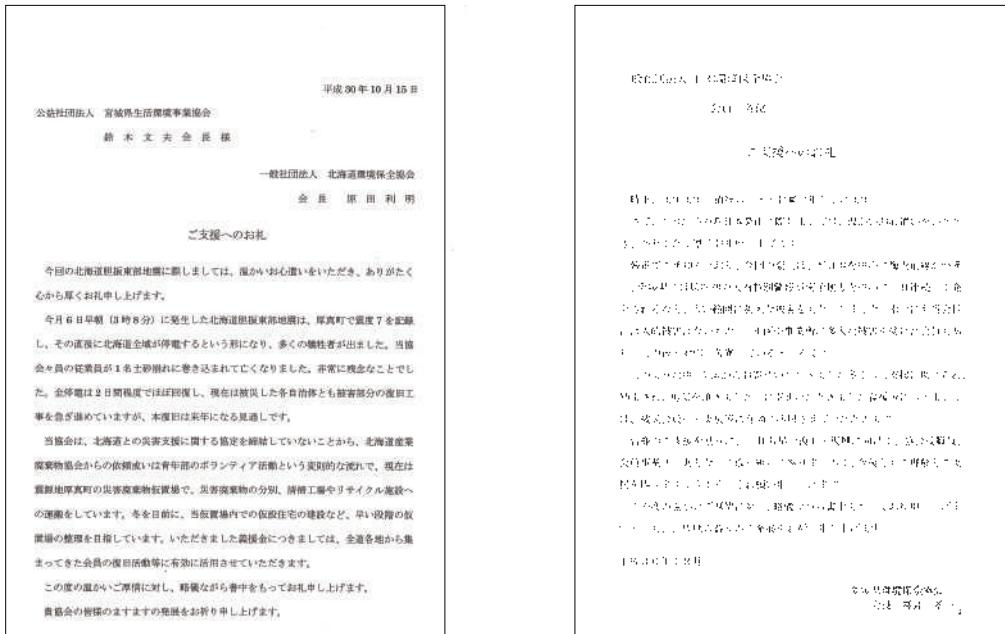
西日本を中心に降り続いた記録的な大雨による『平成30年7月豪雨』災害では甚大な被害が発生し、多くの犠牲者が出てしました。

当協会では被災地の一日も早い復旧・復興を願い義援金を贈ることとし、会員の皆さんにご協力をお願いしたところ、たくさんの皆さまからご賛同をいただきました。会員事業所、会員の地区連絡協議会からお寄せいただいた152万円に協会、協会職員からの6万円を加えた総額160万円を(一社)日本環境保全協会の「平成30年7月豪雨災害義援金専用特別口座」に送金させていただきました。

また、その後9月に発生した『北海道胆振東部地震』では、被災地の災害廃棄物処理を行っている(一社)北海道環境保全協会の会員の皆さんを支援するため、会員事業所、協会からの義援金計10万円を(一社)北海道環境保全協会にお届けしております。

なお、(一社)日本環境保全協会の「平成30年7月豪雨災害義援金専用特別口座」には全国の会員団体等から1,500万円の義援金が寄せられましたが、同協会の理事会の決定に基づき、このうち1,200万円が被害の甚大であった愛媛県環境保全協会に、300万円がその後発生した「北海道胆振東部地震」のお見舞金として(一社)北海道環境保全協会に贈呈されております。

ご協力いただきました会員事業所等の皆さんには、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。



楽天損害保険株式会社（楽天グループ）
日新火災海上保険株式会社（東京海上グループ）
アフラック生命保険株式会社 各代理店

自動車保険・火災保険・労災傷害保険・賠償責任保険
給与サポート保険・医療保険・がん保険・終身保険

合同会社 佐藤保険事務所

〒985-0071 塩釜市松陽台3-13-10 TEL022-366-2451

「全淨連が自民党浄化槽推進議員連盟役員会に7項目を要望」

(一社)全国浄化槽団体連合会(全淨連)は10月2日、東京都千代田区で開かれた自民党浄化槽推進議員連盟の役員会で、単独処理浄化槽の合併転換加速化など7項目を要望しました。さらに「第32回全国浄化槽大会」で採択された「浄化槽適正整備推進決議」についても説明、また環境省からも平成31年度予算概算要求の概要の説明が行われ、これを踏まえて浄化槽の適正な普及に向けた意見交換を行い、議員連盟としても決議書を取りまとめ関係省に提言を行う方針が確認されました。

これを受けて取りまとめられた「平成31年度浄化槽整備事業予算等に関する決議書」は10月17日に麻生太郎財務大臣、同25日に原田義昭環境大臣に直接、手渡されました。

全淨連から要望した7項目は以下の通りです。

要望事項

【1】汚水処理リノベーションの推進に向け「単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換」を加速

老朽化が進んでいる緊急性の高い単独処理浄化槽の転換義務化の法改正と
宅内配管工事等の自己負担軽減に関する助成制度の創設等の財政支援の拡充強化

- ◆汚濁負荷量・・合併処理浄化槽4g/人・日<単独処理浄化槽32g/人・日(8倍の汚濁)>
- ◆平成12年の浄化槽法改正により「単独処理浄化槽」は原則新設禁止となる。一方、平成12年以前に設置された既存の単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換は努力義務にとどまり、平成28年度末で約400万基(地方公共団体が所有するものは約4.3万基)もの単独処理浄化槽が残存。
- ◆単独処理浄化槽が普及しはじめてから約50年が経過し老朽化による破損、漏水による公衆衛生への影響が懸念され、緊急性の高い単独処理浄化槽の転換が必要。
- ◆併せて、単独処理浄化槽の転換に付随して必要となる宅内配管工事の実施に伴う自己負担を軽減する予算制度が必要。

▼
浄化槽法改正により、「緊急性の高い単独処理浄化槽の転換義務化」へ
「宅内配管工事等も含めた単独処理浄化槽の転換経費助成制度」の創設・拡充へ

【2】「浄化槽整備区域の拡大」に対する行財政的措置の拡充強化

約10年後の汚水処理施設概成の政府方針を実現するため、財政にやさしい
浄化槽整備区域の拡大と浄化槽市町村整備推進事業の拡充・強化

- ◆約1,230万人の汚水未処理人口の早期解決に向けて、政府の「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県策定マニュアル(平成26年1月)」において、経済性を考慮した区域割りの推進と併せた10年程度を目途とした汚水処理施設の概成の目標
- ◆汚水処理施設の経済比較による自治体財政の逼迫等から効率的な浄化槽の推進を図る

	汚水処理原価(円/m ³)	うち資本費(円/m ³)	地方債現在高(千円/人)
公共下水道	337.8	153.8	623
農集排	365.2	93.2	502
浄化槽	261.9	28.8	121

※有収密度2.5千m³/ha以下、供用開始後5~15年で比較 ※汚水処理施設の経済比較に関する調査業務報告書(H27.3 環境省)より

- ◆少子高齢化に伴う人口減少が進行する地域において地域循環共生圏の構築に浄化槽が貢献するため、地域の実情に即して公有地を活用した複数戸(5戸以上)の共同浄化槽も組み合わせた浄化槽市町村整備推進事業の拡充及び市町村が設置する公共浄化槽への接続義務化が必要。
- ◆浄化槽市町村整備事業の経費のうち72%が維持管理費用で多くの市町村が一般会計からの繰入れを実施。市町村による適切な使用料設定と併せた維持管理費用への財政措置による持続的な浄化槽市町村整備事業の推進。

▼
浄化槽法改正により、市町村が設置する公共浄化槽への接続義務化
公有地を活用した共同浄化槽等の浄化槽市町村整備推進事業の拡充・強化

【3】「浄化槽を活用した防災拠点トイレシステムの整備促進」

国土強靭化政策の一環として、学校、公民館、庁舎等防災拠点への浄化槽の設置に対する財政支援の拡充強化

- ◆東京都では電力は7日、上下水道が30日、都市ガスは60日程度での復旧を目指している。
※「東京防災-東京都」より
- ◆地震発生時の全損率が低く、応急措置により復旧が可能（阪神淡路大震災0.3%、東日本大震災3.8% 熊本地震6.5%）で災害への対応力が高い。
- ◆大規模災害時に使えるトイレが限られると、水分を控えがちになることからエコノミークラス症候群が多発し、災害関連死に至るケースが多い。
- ◆トイレ難民を救済するためには、災害時の断水にも対応できる自立的な用水確保（貯水槽や井戸の設置）を含めた防災拠点による浄化槽整備の推進

《**浄化槽を活用した防災拠点トイレシステム**》

[災害当初] 汚水貯留槽として活用…100人槽1基設置→1000人に対応可能

[災害1週間以降] 浄化槽として活用…電気の復旧により浄化槽として機能が発揮、
以後、中長期の避難所に適用可能

自立的な用水確保を含めた防災拠点の浄化槽整備の支援拡充

【4】汚水処理リノベーションの推進に向け

行政による「浄化槽台帳システム」の整備、運営管理推進
のための行財政的措置の拡充強化

浄化槽の維持管理向上、単独処理浄化槽の転換に貢献できる
行政による浄化槽台帳システムの行財政的措置の拡充強化

- ◆浄化槽台帳システムとは、行政が持つ浄化槽届出情報、指定検査機関からの法定検査結果報告、このほか浄化槽関係者からの報告について、情報を整理し電子データ化したデータベースとそれを管理するシステムで構成されたもの。
- ◆台帳システムの整備により、法定検査の受検率向上や浄化槽の維持管理状況等の的確な把握によりきめ細やかな管理・指導ができるとともに、単独処理浄化槽の集中的な転換、災害時の浄化槽の被災状況情報の把握による早期復旧さらには浄化槽管理情報のビッグデータ解析を通じた管理の生産性向上も期待できる。
- ◆行政による浄化槽台帳システム整備状況はまだ十分ではなく、浄化槽関係者の協力による行政の浄化槽台帳システムの整備義務化に関する法改正とともに、行政に対する浄化槽台帳システム整備及び運営管理に関する財政支援が必要。
- ◆併せて、浄化槽台帳の整備に付随して、浄化槽の使用休止に関する手続きの法定化および休止にあたっての清掃実施の明確化が必要。

浄化槽法改正により、浄化槽台帳システムの整備義務化 浄化槽台帳システムの整備運営管理への財政支援制度の創設

【5】先進的な省エネ型家庭用浄化槽の導入と エネルギー効率の低い既存の中・大型浄化槽の交換等により 低炭素化と省エネ化を促進する助成制度の拡充

浄化槽システム全体の低炭素化の実現・未来への発展戦略

- ◆2020年以降の温暖化対策の国際枠組みである「パリ協定」が2016年発効され、低炭素社会、さらには脱炭素社会を目指すことが決定された。我が国は2030年までに2013年比で26%の温室効果ガス排出削減、さらには2050年までに80%削減を目標。
- ◆「廃棄物処理施設整備計画（平成30年6月19日閣議決定）」において、5年間で先進的な省エネ浄化槽整備によるCO₂排出量を約7万トン削減する目標をたてた。
- ◆集合住宅、学校、社会福祉施設等に設置されている中・大型浄化槽は、5年間で約1.1万基の中・大型浄化槽の本体若しくは機材交換により約4.6万トンのCO₂削減を目標とする。
- ◆家庭用小型浄化槽は、さらに2013年比で26%削減できる先進的省エネ浄化槽を5年間で25万基導入することにより2.4万トンのCO₂削減を目標とする。

省エネ効果の高い浄化槽整備事業の支援拡充

【6】浄化槽システムの海外への情報発信・国際展開の強化

浄化槽の国際展開による世界の公衆衛生の向上に貢献

- ◆ジャパンブランドである浄化槽システムの海外への情報発信・国際展開は、2015年に採択された国連の持続可能な開発目標(SDGs)に掲げられたひとつとして2030年までに「すべての人々の水と衛生の利用可能と持続可能な管理を確保する—2030アジェンダ」の国際社会の共通目標達成に貢献する。
- ◆特に東南アジア地域は今後急激な経済成長、人口激増に伴い、公衆衛生、水環境と生活環境の保全のため、早急な汚水処理施設整備が必要であることから浄化槽システムの積極的な海外展開を推進することでESG投資として質の高い浄化槽システム投資を通じた我が国のプレゼンスの向上が可能。
- ◆2017年末浄化槽の海外設置実績は、小型浄化槽(50人槽以下)12,007基、中大型浄化槽(51人槽以上)839基の計12,846基が設置されている。10年前の2007年154基5年前の2012年1187基と比較して過去10年間で83倍という爆発的に増加している。
- ◆世界をリードする浄化槽システムの情報発信をJICA(国際協力機構)・JSC(日本サニテーションコンソーシアム)との連携のもと強化する。

浄化槽の国際展開を推進する予算の確保

【7】浄化槽の保守点検技術水準の確保

浄化槽管理士が、浄化槽法に示す本来の役割を果たすため、
浄化槽法により保守点検技術水準の確保に関する措置の充実

- ◆浄化槽法の目的である生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、浄化槽法第48条に基づく都道府県が定める条例において、浄化槽保守点検業者は保守点検業務の登録を行うとともに「浄化槽管理士」の設置及び「浄化槽管理士」による実地での保守点検業務の従事が義務付けられている。
- ◆近年、浄化槽の処理方式が性能評価方式の導入により、浄化槽メーカーの技術改良が進み処理方式、浄化槽の構造、部材や担体等が多種多様化している。浄化槽の性能を発揮するためには保守点検技術の向上が求められており、「浄化槽管理士」の質の確保が重要である。
- ◆浄化槽保守点検業を営もうとする場合は、都道府県知事が条例で定める登録有効期間(5年以内)の満了後、引き続き浄化槽保守点検業を営もうとする者は、更新の登録を受ける際、浄化槽の保守点検技術の向上の観点から、保守点検の知識・技術に関する最新の情報を習得をする必要がある。

浄化槽法改正により、浄化槽保守点検業者が登録更新する際に、浄化槽管理士の 質の高さを確保する制度の創設

平成30年度上半期の法定検査結果について

○法定検査の実施状況

- (1) 法第7条検査は、当初年間目標基数2,500基に対し1,250基実施しました。(進捗率50.0%)
 沿岸部等の設置基数の伸びは落ち着きを取り戻しつつあり、検査依頼の件数も減少傾向が認められます。
- (2) 法第11条検査は、当初年間目標基数64,000基に対し34,950基実施しました。(進捗率54.6%)
 下水切替等による廃止基数は例年よりもやや増加の傾向が認められます。

○判定結果

判定区分別の割合は、前年度と同様の傾向でした。(表-1)

第7条検査の不適正事例の上位の内訳は、嵩上げ異常、消毒剤無し、管渠からの漏水、合併処理槽へ接続されていない排水管ありの順になっています。第11条検査の不適正事例の上位の内訳は、3回連続BODと透視度が不可、消毒剤無し、本体からの漏水の順になっています。(表-2)

前年度と比較すると、第7条検査は、嵩上げ異常の指摘が4件、設置状況に異常ありは3件減少し、全体では昨年より4件少ない指摘件数となりました。第11条検査では3回連続BODと透視度が不可の異常事例が引き続き高い割合を占めています。

なお、市町村別の実施状況は(表-3)の通りです。

判定結果

(表-1)

(単位:基)

検査区分	処理方法	判定区分						合計	
		適 正		おおむね適正		不 適 正			
		比 率		比 率		比 率			
7条検査	合併	937	75.0%	296	23.7%	17	1.4%	1,250	100%
11条検査	合併	21,115	80.7%	4,599	17.6%	448	1.7%	26,162	74.9%
	みなし	7,601	86.5%	1,016	11.6%	171	1.9%	8,788	25.1%
	合 計	28,716	82.2%	5,615	16.1%	619	1.8%	34,950	-



■取扱商品

エアーポンププロワー ガス検知器・送排風機
 電動工具・制御機器・記録紙 水中ポンプ・陸上ポンプ
 配水管清掃機器・薬剤 処理槽関連部品・FRP補修剤
 給水ポンプ・薬注ポンプ 各種産業用ベルト・ホース
 マンホール・その他
 水質検査器・理化学機器 処理槽用消毒薬・維持管理

水処理関連機器の総合商社

即答即配システムが当社のモットーです。

 株式会社 日環商事
Nikkanshoji

本 社 〒920-0333 石川県金沢市無量寺5丁目75番地
 TEL:076-268-1771(代) FAX:076-267-5348
 FAX専用 フリーダイヤル 0120-617-718
 E-mail:info@nikkan-shoji.co.jp
<http://www.nikkan-shoji.co.jp>
 四国営業所 〒769-0103 香川県高松市国分寺町福家甲196番地1-101
 TEL:087-813-7621 FAX:0120-617-718
 九州営業所 〒812-0861 福岡県福岡市博多区浦田1丁目21号-7
 TEL:092-558-4828 FAX:0120-617-718

(表-2)

(単位:事例数)

不適正事例	検査区分				
	7条検査		11条検査		
	比率	みなし	合併	合計	合計比率
3回連続BODと透視度が望ましい範囲を超えてます。	0	-	23	245	268 36.4%
消毒剤がありません。	3	16.7%	15	55	70 9.5%
槽本体から漏水しています。	0	-	34	13	47 6.4%
汚泥が流出しています。	1	5.6%	35	11	46 6.2%
残留塩素が検出されません。	1	5.6%	11	34	45 6.1%
嵩上げにより、維持管理作業に支障があります。	5	27.8%	2	39	41 5.6%
ばっ気が停止しています。	0	-	3	29	32 4.3%
管渠から漏水しています。	2	11.1%	21	6	27 3.7%
抜本的な改善が望れます。	0	-	23	0	23 3.1%
合併浄化槽に接続されていない排水管があります。	2	11.1%	0	22	22 3.0%
設置状況に異常が認められます。	1	5.6%	0	20	20 2.7%
建築基準法で認定を受けていない槽が設置されています。	0	-	16	0	16 2.2%
雨水が流入しています。	1	5.6%	2	8	10 1.4%
槽内が冠水しています。	0	-	3	7	10 1.4%
浄化槽法の規定により、単独処理浄化槽の設置は違法となります。	0	-	9	0	9 1.2%
トイレ以外の排水管が接続されています。	0	-	8	0	8 1.1%
担体が多量に流出しています。	0	-	0	6	6 0.8%
特殊な排水が流入しています。	0	-	1	4	5 0.7%
放流ポンプが稼働しません。	0	-	1	4	5 0.7%
土砂が流入しています。	1	5.6%	2	2	4 0.5%
二次処理槽の水位が上昇しています。	0	-	1	3	4 0.5%
ろ過槽の底部が閉塞しています。	0	-	0	4	4 0.5%
保守点検が行われておりません。	0	-	2	1	3 0.4%
保守点検が環境省の定めた回数を満たしていません。	0	-	1	1	2 0.3%
槽本体が破損しています。	0	-	1	1	2 0.3%
汚水の流入が正規の位置ではありません。	0	-	2	0	2 0.3%
一次処理槽の水位が上昇しています。	0	-	0	2	2 0.3%
沈殿槽の底部が閉塞しています。	0	-	2	0	2 0.3%
送気管が破損しています。	0	-	0	1	1 0.1%
越流ぜきから均等に流水していません。	0	-	0	1	1 0.1%
対象外の建物からの排水管が接続されています。	1	5.6%	0	0	0 -
合 計(事例が重複するため、不適正基数と一致しない)	18		218	519	737 -

maruki水質測定器・理化学器械
分析機器・工業薬品・試薬**株式会社マルキ**〒984-0806 宮城県仙台市若林区舟丁1番地
TEL.022-227-1595 FAX.022-221-6090

(表-3)

浄化槽法定検査市町村別実施状況

(単位:基)

市町村		7条検査			11条検査		
		当年度	前年度	増減	当年度	前年度	増減
仙台市	泉 区	13	11	2	773	760	13
	青葉区	8	4	4	546	677	△131
	宮城野区	2	3	△1	42	39	3
	若林区	2	1	1	50	49	1
	太白区	4	3	1	227	254	△27
石巻市		219	172	47	4,799	4,681	118
東松島市		9	10	△1	914	947	△33
女川町		2	3	△1	49	50	△1
塩釜市		0	0	0	0	0	0
多賀城市		0	0	0	0	0	0
七ヶ浜町		0	2	△2	0	0	0
松島町		7	11	△4	1	1	0
利府町		0	7	△7	1	1	0
名取市		15	20	△5	909	907	2
岩沼市		7	6	1	388	385	3
亘理町		25	14	11	931	939	△8
山元町		10	23	△13	394	379	15
富谷市		6	7	△1	1	1	0
大和町		7	10	△3	0	0	0
大郷町		11	16	△5	0	0	0
大衡村		5	6	△1	0	0	0
大崎市		115	117	△2	3,652	3,460	192
加美町		31	29	2	1,014	986	28
色麻町		13	0	13	431	440	△9
涌谷町		6	7	△1	35	6	29
美里町		5	3	2	85	89	△4
登米市		81	94	△13	4,545	4,459	86
栗原市		114	125	△11	1,416	1,419	△3
気仙沼市		281	393	△112	7,750	7,306	444
南三陸町		186	195	△9	2,036	1,569	467
白石市		8	24	△16	17	13	4
角田市		20	14	6	1,380	1,400	△20
大河原町		0	3	△3	26	28	△2
柴田町		10	5	5	692	714	△22
丸森町		12	13	△1	1,061	1,059	2
村田町		4	15	△11	5	4	1
川崎町		3	9	△6	734	734	0
蔵王町		9	22	△13	16	16	0
七ヶ宿町		0	1	△1	30	26	4
合 計		1,250	1,398	△148	34,950	33,798	1,152

■二次検査

検査の結果が3回連続でBODと透視度が共に基準値を超えた場合、11条検査の翌月に二次検査を実施しています。ただし、直近の放流水BODが60mg/L以下の施設及びサカマキガイ等の原因により放流水質が悪化している施設については、11条検査結果書に別紙（トラブルシューティング）を添付して対応しています。平成30年4月1日から8月31日までの二次検査の実施状況及び現場対応の水質悪化原因内訳は、次のとおりです。（表－4、5）

(表－4)

二次検査実施状況

(単位:基)

11条検査 (合併)	二次検査実施	内 訳						
		別紙対応		現場対応	比 率			
		比 率	比 率					
		22,000	116	0.5%	82	71%	34	29%

(表－5)

現場対応の水質悪化原因内訳

分 類	主 な 原 因	基 数	比 率
使用状況が原因	流入BODが高濃度	5	14.7%
	流入水量が多い（計画水道比率100%超）	2	5.9%
	特殊な流入条件（油脂類の著しい流入、トイレ排水過多等）	2	5.9%
	人員比が高い（1.0超）	1	2.9%
	流入水量が少ない（計画水道比率50%以下）	1	2.9%
設定調整等が原因	循環水量が過多	2	5.9%
	堆積汚泥が過多	2	5.9%
	その他	2	5.9%
	接触材の閉塞・ろ過部閉塞	1	2.9%
	散気管及び逆洗管の目詰まり	1	2.9%
	汚泥移送水量が過多	1	2.9%
	流量調整移送水量が過多	1	2.9%
付帯設備が原因	清掃時期の超過	1	2.9%
	送風機の吐出能力が低下（規格外設置等）	2	5.9%
	担体充填率が低下	2	5.9%
	自動逆洗が不能	1	2.9%
水質回復	設備の破損・変形・固定不良	1	2.9%
		6	17.6%
	合 計	34	100.0%

「BOD除去型浄化槽における有機物・ 窒素の高度処理化技術に関する研究」

検査部 検査第二課 主幹 佐々木 敦



1. はじめに

宮城県内においても、窒素除去型浄化槽の普及が促進され、水環境の保全に関心がもたれています。窒素除去型浄化槽は有機物に加え窒素を除去している一方、BOD除去型浄化槽においては、窒素が十分に除去されず、水環境に対する負荷が課題であると考えられました。このことから、BOD除去型浄化槽の処理水質の改善を目的に調査を行いました。

2. 調査方法

調査は、宮城県内に設置している担体流動生物ろ過方式を採用したBOD除去型浄化槽10基について行い、生物ろ過部の逆洗管を利用した底部ばつ気によって窒素の除去が可能であるかを検証しました。

3. 結果・考察

通常の運転（以下、「対照群」とする）と底部ばつ気の処理水質の結果を図-1と図-2に示した結果、TOC、T-N、NH₄-Nともに低下することが認められました。有機物の除去が確認され、本調査においては同時に窒素の除去まで確認されました。また図-2より、好気槽底部におけるDO値は、対照群では0.1mg/L、底部ばつ気では1.4mg/Lを示し、底部ばつ気のDOが有意に高いことが認められました。一方、生物ろ過部をばつ気したことにより、SSの捕捉への影響が考えられましたが、SS除去率は対照群で70.1%、底部ばつ気で64.1%と有意差は確認されませんでした。これらのことから、底部ばつ気を実施してもSS除去性能に影響なく処理水を高度処理化できることが分かりました。

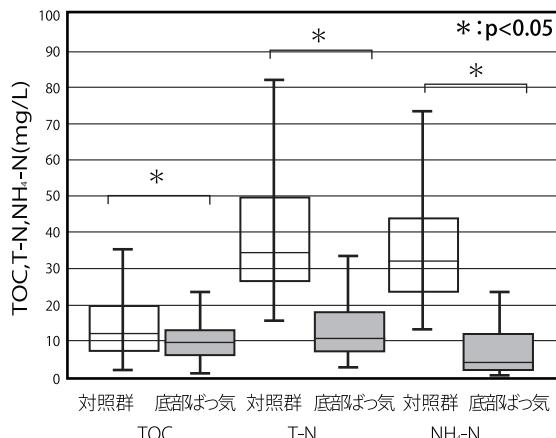


図-1 対照群と底部ばつ気における
処理水TOC, T-N, NH₄-Nの比較

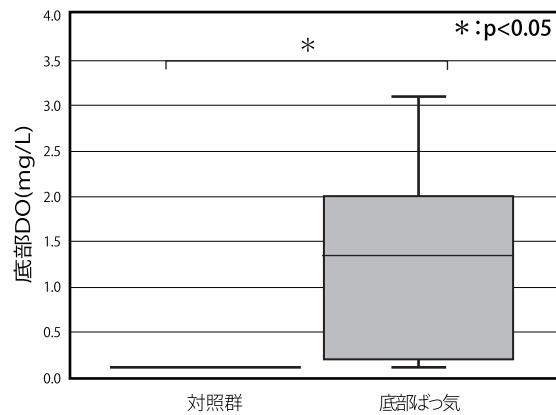


図-2 対照群と底部ばつ気における
処理水底部DOの比較

4. おわりに

今後、このような技術が保守点検業務に反映されるよう、保守点検業者と技術情報を共有していきたいと考えております。また、水質の悪化要因は様々あり、その要因が日々の保守点検業務から明らかになることも考えられます。引き続き、二次検査や水質悪化施設への改善にご協力をお願い申し上げます。

「小型浄化槽における塩素に依存しない 消毒方法の開発に関する基礎的研究」

検査部 検査第二課 主任主査 高橋 直樹



1. はじめに

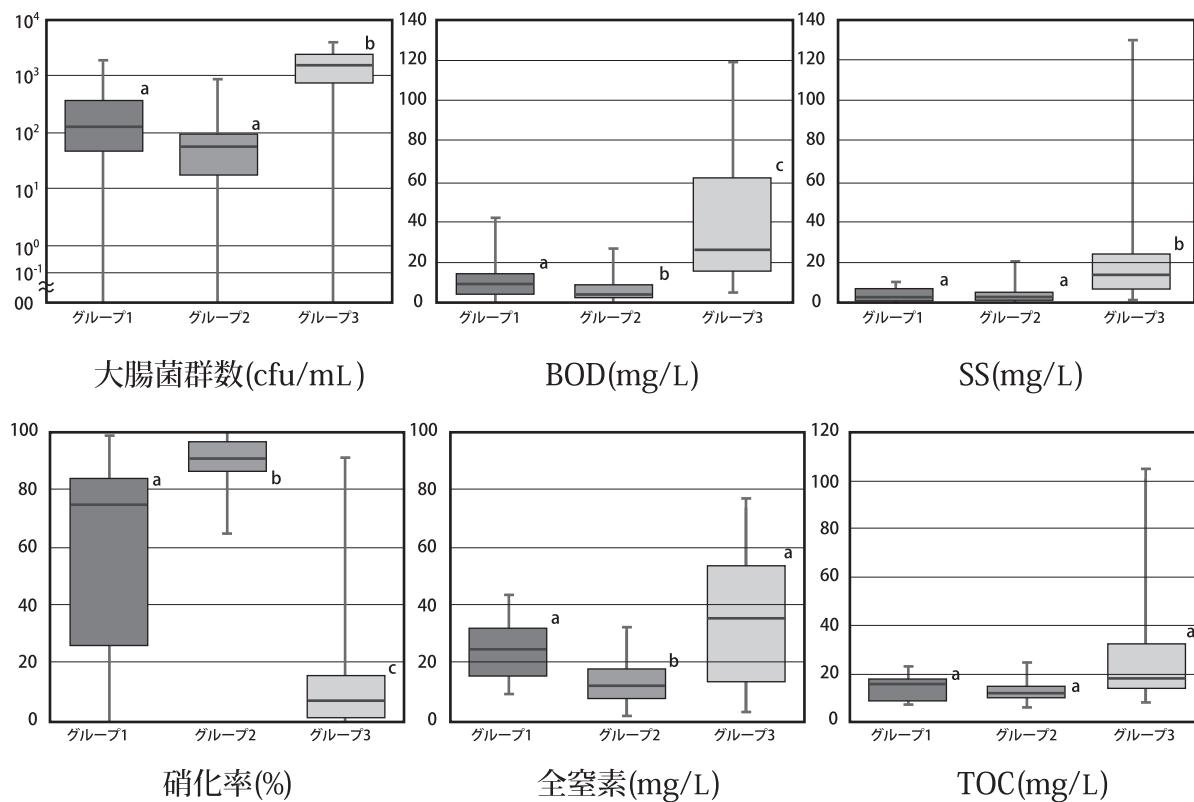
浄化槽処理水の衛生学的安全性の確保は、塩素消毒前までの工程において大腸菌群などの病原性細菌を除去することが重要であります。これまでの研究でBOD・SSの低下および硝化率が上昇することで、大腸菌群数は減少することが明らかになっていましたが、最近の浄化槽は多種多様な処理フローが存在するため、処理構造の違いが大腸菌群除去に影響を及ぼすことが考えられます。そのため大腸菌群除去因子であるファクターを行い、階層的クラスター分析により浄化槽を幾つかのグループに分類してから各々の特性を評価しました。

2. 調査方法

戸建て住宅に設置している7人槽の性能評価型浄化槽で、人員比が1.0以下を対象としました。水質項目は、大腸菌群数、BOD、SS、各態窒素、全窒素、TOCを測定しました。

3. 結果・考察

階層的クラスター分析で分類できた3グループより各々の処理性能特性を評価しました。



グループ2に属する浄化槽において全ての項目で処理特性が優れていることが明らかになりました。処理構造では、好気槽構造において担体を用いた生物ろ過槽を有しているため、生物膜による生物的浄化作用と物理的なろ過作用が同時に起こったことで、大腸菌群数、BODおよびSSの除去効果が高かったと考えられました。

会員情報

※前回会報掲載分から平成30年12月末までの情報です。

正会員の退会

日付	会員	事業所名	代表者名	住所
11/8	正会員	(有)バイオインスペクト	今野 圭市	〒988-0314 気仙沼市本吉町園の沢44-1

代表者変更・組織変更

日付	会員	事業所名	代表者名	住所
9/4	正会員	(株)三協住設	新 梶原 久智	〒988-0025 気仙沼市内ノ脇1-15-9
			旧 梶原 功毅	
10/24	正会員	新 (合同)環境プランニング 旧 みなと衛生社	新 濵谷 俊樹	〒986-2243 牡鹿郡女川町鷺神浜字荒立54-21
			旧 濵谷 侑也	

訃報

当協会の元理事 東北藤吉工業株式会社 代表取締役 佐藤 泰夫 様におかれましては、かねて病気療養中のところ平成30年11月7日にご逝去されました。

会員一同、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



パンフレット『浄化槽ではじまる快適なくらし』を改訂しました!!

このたび当協会、法定検査センターで使用している浄化槽に関する総合的なパンフレットを改訂しました。

設置から使用開始までの手続きや管理者の義務、浄化槽の仕組み、維持管理や法定検査、使い方の注意等について、以前のものより「わかりやすく」をコンセプトに、イラストを多用しながら解説しています。(全16ページ)

会員、県内市町村等の皆さまには無料でお配りしておりますので、浄化槽の普及促進や適正な維持管理にぜひご活用ください。

ご希望の方は当協会事業部企画課
(TEL022-231-2755)までご連絡をお願いします。



『平成31年一般廃棄物セミナー』開催のご案内

日 時：平成31年2月18日(月) 13時30分

場 所：ホテル白萩 3階「萩」（仙台市青葉区錦町2-2-19）

対 象：当協会会員、県内市町村担当課職員等

内 容：(1)「宮城県内における一般廃棄物の処理状況等について」

■講 師：宮城県環境生活部循環型社会推進課
リサイクル推進班 技師 渡部 剛 氏

内 容：(2)「クレーム対応セミナー（危機管理的顧客対応）」

■講 師：株式会社エス・ピー・ネットワーク
総合研究部 上席研究員 西尾 晋 氏

このあとの行事予定

平成31年新春セミナー・賀詞交歓会

日時：平成31年1月25日(金)16時00分

場所：ホテル白萩

◀1月

平成31年一般廃棄物セミナー

日時：平成31年2月18日(月)13時30分

場所：ホテル白萩

◀2月

平成30年度第4回三役会議

日時：平成31年2月27日(水)13時30分

場所：協会会議室

◀2月

平成30年度第4回定期理事会

日時：平成31年3月7日(木)13時30分

場所：協会会議室

◀3月